

試験経過記録

(様式4)

区分	任意
----	----

日田 営林署

昭和60年10月 中長学調査及保育(1州)
中長学 平均径 1.5 cm
、長 107 cm

昭和60年3月 (再設苑)
地 拵

植 付 落羽松 139本 (購入分 100本 25;
育 子 100本 (購入分)

試験設苑同の比川交直、別株植栽可也。

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

状 況 写 真

区 分 休 養

日 回 營 林 署

(樣 式 6)



(任意課題)

課 題	継続別 新規	継続	経常別 特別 月 別 目標 の 達成	担 当	経営評 査 科 長	開発 箇所	小石原担当 林班	期 間	昭和58 7年	予 算 科 目	技 術 開 発	経費	品名	数量	単価	金額
												千円				
目的	落羽松を利用した国有林の低湿地の有効利用(湿地帯の更新技術について)				当											
目的	若く小石原担当の部内には除地と低湿地の2種があり、現在は森林と低湿地の利用価値の比較から、低湿地に落羽松を植栽し、森林と低湿地の比較がある。															

全体計画	実施経過	当年度分																																																												
		実施計画	実施結果																																																											
<p>1. 育苗試験</p> <p>1) 山引苗法者試験</p> <p>2) 2L不得苗</p> <p>2. 生長試験</p> <p>1) 生長量試験</p>	<p>育苗試験は失敗。終りの2Lは、10年及び山引苗の生長量調査に照準し、59年10月実施</p> <p>山引苗7株</p>	<p>適正な保育管理</p>	<p>苗木内取負の50%以下を3回実行</p> <p>生長量調査を実施経過の20%</p>																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">径級</th> <th colspan="2">長級</th> </tr> <tr> <th>前年度</th> <th>当年度</th> <th>前年度</th> <th>当年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>-</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>-</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>0.6</td> <td>0.6</td> <td>-</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>0.1</td> <td>0.7</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>枯</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1.0</td> <td>1.1</td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>1.1</td> <td>1.2</td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>枯</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6.5</td> <td>6.9</td> <td>0.4</td> <td>4.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>期間平均成長量 径 0.45cm 長 140cm 平均樹高 82cm 径級 10cm (概)</p>	No.	径級		長級		前年度	当年度	前年度	当年度	1	14	14	-	28	2	0.9	1.0	0.1	0.9	3	0.5	0.5	-	0.7	4	0.6	0.6	-	0.8	5	1.0	1.1	0.1	0.7	6	枯				7	1.0	1.1	0.1	0.9	8	1.1	1.2	0.1	0.9	9	枯				計	6.5	6.9	0.4	4.7		
No.	径級		長級																																																											
	前年度	当年度	前年度	当年度																																																										
1	14	14	-	28																																																										
2	0.9	1.0	0.1	0.9																																																										
3	0.5	0.5	-	0.7																																																										
4	0.6	0.6	-	0.8																																																										
5	1.0	1.1	0.1	0.7																																																										
6	枯																																																													
7	1.0	1.1	0.1	0.9																																																										
8	1.1	1.2	0.1	0.9																																																										
9	枯																																																													
計	6.5	6.9	0.4	4.7																																																										

* (課題)欄は指示、指導管理、自主、任意、別E記(入)する。
 目標、との関連欄は毎年宮林局技術開発目標(59発計第18号)により記号で記入する(例 1-(ア))

課題

落羽松の利用に国有林内低湿地の有効利用

1. 山引苗 7本は生育中であるか 生長量は良いか。

調査結果は別報告書のとおり

2. 適正な保育管理

湿地帯に生える雑草の生長が著しく 現在年3回の刈草 4~5回実行する必要がある。

3. 実生苗養生

種子を採取したので 実生苗育成に取組む予定

(任意課題)

昭和59年度技術開発実施報告書

課 題	経 費 別 新 規	経 常 継 続	経 常 別 経 費 の 区 分	担 当	課 目	開 発 場 所	日 付	期 間	昭和 56年度 — 昭和 58年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
																千円
道		継続	1-工		造林課							物件費				
目的		湿地帯の更新技術について										役務費				
		湿地帯が除地として、2.83haあり、現在は森林として利用価値がないとして、この地に落羽松を植栽し森林としての育成をはかる										人件費		人		
												計				
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分												
				実 施 計 画					実 施 結 果					評 価 お よ び 及 出 産		
1. 試験地設定 2. 育苗試験 (1) 山引苗活着試験 (2) 土木得苗試験 3. 調査事項 (1) 生長量調査 4. 保育管理		1. 試験地設定(昭和56年5月) (1) 場所 畑尻国府林11区林内 (2) 面積 0.12ha 2. 育苗試験 (1) 山引苗活着試験 ア 栽植率93% 活着率100% イ 昭和56年5月植栽 エ 昭和59年3月現在2株死亡 (2) 土木得苗試験 昭和56年度250本 昭和57年度200本在株全部死亡 3. 調査事項(昭和56~58年) (1) 生長量調査 山引苗3本、58年度以降2本について調査		1. 調査事項 (1) 生長量調査 2. 保育作業					1. 調査事項 (1) 生長量調査 2. 保育下刈3回実行							

課 題 目 的	新規 継続	継続	経常. 特別別 目標との関連	経 常 ノ一工	担 当	造林課	開 発 箇 所 日 田	期 間	昭和 56年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額						
												円	千円									

湿地帯が除地としてふさふさあり、現在は森林として利用価値がなるところで、この地に落羽松を植栽し森林としての育成をはかる。

全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分																				
				実 施 計 画	実 施 結 果	評価および普及計画																		
1. 試験地設定 2. 育苗試験 (1) 山引苗活着試験 (2) 立木苗得苗試験 3. 調査事項 (1) 生長量調査 4. 保育管理		1. 試験地設定(昭和56年5月) (1) 場所 畑5号国有林11区画内 (2) 面積 0.12ha 2. 育苗試験 (1) 山引苗活着試験 ア. 武雄営林署から本活着率100% イ. 昭和59年3月 2本枯死 (2) 立木苗得苗試験 昭和56年度250本、昭和57年度200本直挿全部枯死 3. 調査事項 (1) 生長量調査 山引苗2本、昭和58年以降2本について調査		1. 調査事項 (1) 生長量調査 2. 保育管理	1. 調査事項 (1) 生長量調査 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="2">昭和56 植付時</th> <th colspan="2">昭和61年</th> <th colspan="2">生長量</th> </tr> <tr> <th>樹高</th> <th>本数</th> <th>樹高</th> <th>本数</th> <th>樹高</th> <th>本数</th> </tr> <tr> <td>2.7</td> <td>22</td> <td>1.5</td> <td>102</td> <td>0.0</td> <td>26</td> </tr> </table> 2本は植付翌年枯死したものである 2. 保育、下刈実行	昭和56 植付時		昭和61年		生長量		樹高	本数	樹高	本数	樹高	本数	2.7	22	1.5	102	0.0	26	
昭和56 植付時		昭和61年		生長量																				
樹高	本数	樹高	本数	樹高	本数																			
2.7	22	1.5	102	0.0	26																			

昭和61年度技術開発実施報告書

熊本営林局

(任意課題)

課 題	新規 別 継続	新規	経常・特別別	経常	担 当 課	開 発 箇 所	日 田 問	期 間	昭和(56) 61年度 ～ 昭和 65年度	予 算 科 目	造 林 費 (育 林)	経費	品名	数量	単価	金額
			目標との関連	1～I												円
		湿地帯の更新技術について										物件費	調査用品			
												役務費	現像、その他			
												人件費	(基職)時 臨	() 4		(~)
目的		湿地帯が2,83haあり、現在は森林として利用価値がないところで、この地に落羽松を植栽し森林としての育成をはかる。										計	～			(~)
全体計画		実施経過			当年度											
					実施計画				実施結果				評価および普及計画			
1. 昭和56年度から実施してきたが、全体計画を下記のとおり変更し実施する					1. 調査事項 (1) 生長量調査				1. 当年度実施計画は取止め、下記のとおり実施した。							
2. 試験地設定 (1) 地拵 (2) 植付 (3) 落羽松 100本 スギ 100本					2. 保育管理				2. 試験地設定 (1) 場所 畑城国有林11に林小班 (2) 面積 0.12ha (3) 樹種 落羽松 104本 落羽松 100本 スギ 100本 本購入 落羽松署養成 35本							
3. 育成試験 (1) 署養成苗活着試験									3. 植付 落羽松 139本 スギ 100本 を交互に列状に植栽する。							
4. 保育管理																
5. 調査事項 (1) 活着率調査 (2) 生長量調査																

湿地帯の更新技術について

1. 試験地設定

(1) 場所 畑ヶ原国有林 11に林小班

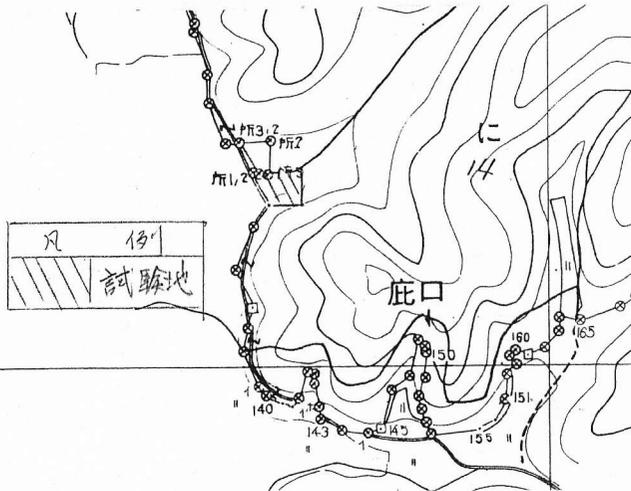
(2) 面積 0.12ha

(3) 樹種 落羽松 苗木購入104本 着成 35本 計139本
スギ 苗木購入100本

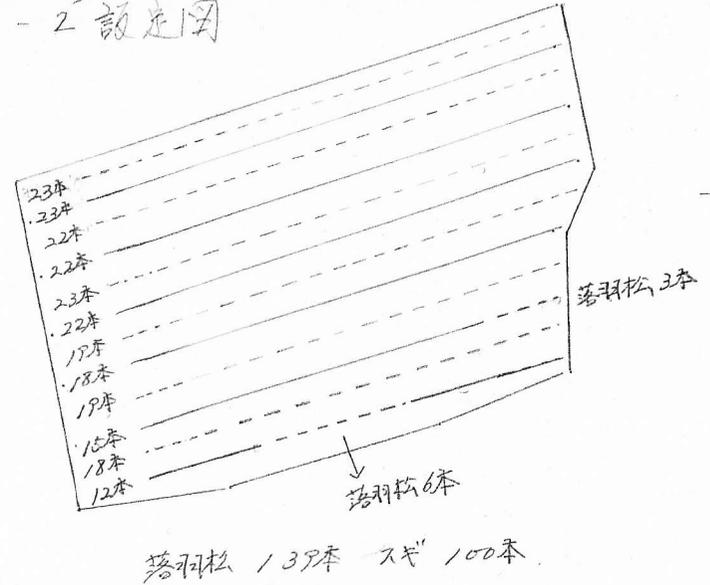
2. 植付の方法

落羽松 139本 スギ 100本 を1列おきに交互に植栽
を行った。

図-1 試験地位置図



試験地
図-2 設定図



3. 考察

昭和59年度排水溝を作設した結果^{3/20年}蘆葦が繁茂してきたので
昭和61年度より改めて試験地を設定し、落羽松 139本 スギ 100本

を設定図のとおり1列ごと交互に新植した。今後毎年生長を
観察して行きたい。

なお 昭和60年度以前の試験については調査を取り止めると
にした。

題 目	新規 別 継続	継 続	経常・特別別		担 当	開 発 箇 所	期 間	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費 品 名 数 量 単 価 金 額								
			目標との関連							昭 和 61 年度	昭 和 65 年度	物 件 費	品 名	数 量	単 価	金 額		
的 目 的					造林課	同 同												
			湿地帯の更新技術について															
			湿地帯(0.12ha)に落羽松を植栽し森林としての育成を図る。															
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分														
				実 施 計 画		実 施 結 果		評 価 お よ び 普 及 計 画										
1. 試験地の設定 (再)		昭和58年に設定し、排水		1. 試験地の設定		1. 試験地の再設定												
2. 地帯 植付		による実行の結果、若者新		2. 地 帯		2. 地 帯												
1. 落羽松苗100本と		規に再度、排水溝を建設し		茅が繁茂しているため、刈草		針 葉 樹 の 刈 取 実 施												
寸さ苗100本購入		発生し、根幹を採取し、挿付		草を焼かす。植														
2. 育苗試験		付けた。おもむきに育つ。植		3. 植 付		3. 植 付												
2. 養苗苗若者試験		昨年、現地で同相苗を植		落羽松 100本 (購入100本		落羽松 100本 (購入100本												
1. 寸さ苗の混植試験		験の結果、成育を購入し		寸さ 100本		寸さ 100本												
3. 調査事項		現設定し、再び再度地帯		と列挙し、植付		と列挙し、交互に植栽す												
2. 若者率調査		(落羽松(100本)寸さ(100本)				(別紙同前同前)												
1. 成長率調査		交互に列挙し、植栽す。																
4. 保存、管理																		
下刈 2回																		

試験経過記録

区分 任意

白田 営林署

(様式4)

昭和56年10月	挿木得苗調査、活着率調査。 直挿し活着 0 山引苗 100% 活着 直挿しについては採穂時期を失っていた(6月採穂)にて全滅したかと思われる。 多湿な所では土壌の通気性がほとんどないことから通気性の向上が、簡易排水溝及び畝上の必要がある。	
昭和57年3月	林木育種場にて穂木250本採取し 発根促進剤に1昼夜浸し挿す 簡易排水溝作成及び畝上実行(畝上の厚さ15cm)	
昭和57年7月	挿木得苗調査 直挿し 200本のうち 96本については発芽しているものの発根しているが不明 (3本採取りの結果 発根なし 山引苗 2本枯死)	
昭和57年10月	挿木得苗調査、活着調査、生長量調査。 直挿し 全滅 山引苗 7本活着 生長量 平均長 平均長 2ヶ月経つて直挿しが失敗に終わったことと多湿な所での直挿しは無理と判断される。今後の苗木養成のうえで行 (早稲農林高校の挿木苗木養成の成幼例がより) 視察と実生苗の採取が必要	
昭和58年7月	生長量調査	生長量 平均長 平均長 0.9cm 57cm
昭和58年10月	生長量調査	生長量 平均長 平均長 0.9cm 68cm
昭和59年10月	生長量調査	生長量 平均長 平均長 82cm 1.0cm

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

試験経過記録

(様式4)

区分 任意

日田 営林署

昭和62年10月 中長年調査及保存(計)
 調査地 平均長 1.5 m
 長さ 107 m

昭和62年9月 (再設置)
 地 拵

植付 落羽松 139本 (購入分 100本)
 杉 100本 (購入分)

試験被道同の地から更に別株植栽あり。

昭和62年4月

植付時苗木調査

苗木種別	本数	平均長	平均長
落羽松	139本	5.73 ²⁸⁰⁰	44.58 cm
杉	100本	8.69 ²²⁰⁰	72.52 cm

昭和62年9月
 ・中長年調査
 ・活着率調査
 ・保存(計)実行

苗木種別	本数	活着率	平均長 (中長年)	平均長 (中長年)
落羽松	131本 (139本)	94%	(1.03) 8.76 m	(9.55) 54.14 cm
杉	95本 (100本)	90%	(2.92) 11.41 m	(17.57) 42.09 cm
落羽松	6本 (購入分)	-	2.57 m	134.67 cm

- 記載要領
1. 調査結果及び考察を記入する。
 2. 状況写真は別途整理する。

状 況 写 真

区 分 任意

田 田 営 林 署

(様 式 6)

(全 体)



(状 況)